

閉じる

印刷

---

日付:2007-11-30 タイトル:第9回研究セミナー 第2研究委員会

第2研究委員会 地域生活支援 ◆「もしも施設が消えたなら・・・パート2」昨年度に引き続き、第2研究委員会では「もしも施設が消えたなら・・・」をテーマに議論をしていきます。地域生活支援の本質を問うという根源的な取り組みを続けている私たちにとって、今必要な取り組みは、制度が抜本的に変更されていく中でもなお、自分たちの足元に横たわっている「施設」という枠組みを、ゼロから見直していく作業なのではないか、ということを昨年度のセミナーで問題提起しました。昨年度のセミナーでは「実はずいぶん前から施設を前提としない支援を考えてきた」というベテラン支援者からの発言や、「あなたたち職員一人ひとりが「施設」なのです」という当事者からの言葉をいただき、セミナー後のアンケートでも、参加者から自らの支援の足元を揺さぶられるようなセミナーとなった、という感想が複数の方から寄せられました。しかし昨年は時間不足もあって、我々の心にある「施設のなるモノ」に片足を踏み込んでみただけのもの、「もしも施設が消えたなら・・・」という主題の大いなる深みにズボズボとはまりこんだままにセミナーが終わった印象は否めませんでした。そこで、昨年度参加された方には「予告どおり」となりますが、今年のセミナーでも再度「もしも施設が消えたなら・・・」に真正面から切り込んでいきたいと思っております。入所施設の「解体」は現実に進んでいるのか。通所施設・グループホームなどの地域での支援こそ実は危なくないか。「地域の施設化」は起こっていないか。そして、そもそも「施設」って何なのか。「もしも施設が消えたなら・・・」の後半部分の「・・・」にどんな言葉が、想いが注入されていくのか、皆さんとともに刺激的かつ冒険的な議論をしつつ、大いに心に引っかかる委員会にしたいと思っています。奮ってご参加ください。＜スケジュール＞ 9:00 受付開始 9:30 趣旨説明 9:45 鼎談『もしも施設が消えたなら・・・パート2』市川 和彦(創造学園大学ソーシャルワーク学部専任講師/PAK代表) 厚坂 幸子(ともいくクラブ・神奈川) 稲木 俊夫(もやい・神奈川/当会理事) 12:00 昼食休憩 13:00 『みんなで語ろう!「施設無し」の暮らして?』(フロアの皆さんからの疑問や意見をもとに議論を展開します) 鈴木 治郎(神奈川県障害者自立生活支援センター・神奈川) 村山 美和(スタジオIL文京・東京) コーディネーター 赤平 守(社会福祉法人同愛会・神奈川/当会理事/日本障害者協議会理事) 15:30 終了

---

Copyright © NPO法人全国障害者生活支援研究会 All Right Reserved

閉じる

印刷